

豊後大野市立三重中学校 【ICT活用の実際、教具の活用、板書の構造化、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際



2年 社会科⇒1人1台端末の活用

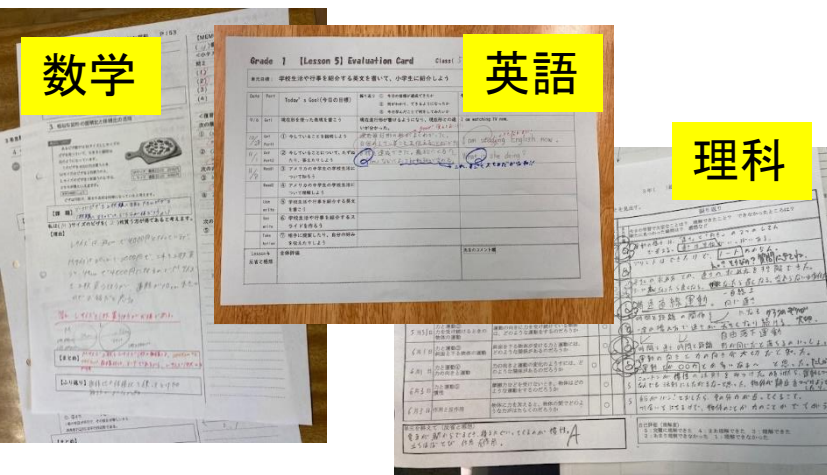


1年 理科⇒実験の様子を録画



3年 数学科⇒ホワイトボードの効果的活用
板書の構造化

3. 自立した学習者の育成



数学科、英語科、理科⇒授業の振り返り



図書館環境の充実

1. 2年の社会科では、中部地方の工業が発達した理由について複数の資料をタブレット端末を活用して読み取りを行い、考えをまとめる授業を行っていました。1年の理科では、沸点の違いを利用した実験において、実験の仕方や実験の様子を録画して実験の経過を記録していました。
2. 3年の数学科では、相似な図形の授業において、ホワイトボードに考えや理由をまとめ共有していました。また、ホワイトボードと板書が整理され、構造的な板書になり、授業の流れや生徒が思考を深め、振り返りを行う上で効果的となっていました。
3. 『自立した学習者の育成』として、数学科、英語科、理科の授業において、単元を見通した振り返りや1時間の授業の振り返りなど工夫したワークシートが見られました。また、図書館の充実も見られ、新刊本やSDGsなどの特集があり、調べ学習にも活用しやすい環境となっていました。